

2024年度版

# 出前授業

## ご案内

滋賀短期大学

本学では、高校生を対象に、短期大学における授業の内容や進め方などについて知っていただくことを目的として「出前授業」を実施しております。

貴校で実施を予定されている「総合的な探究」、その他の教育活動において、この「出前授業」を活用していただければ幸いです。

なお、授業等の時間や内容については、貴校の実情を考慮して柔軟に対応したいと思います。

### 【実施要領】

- 高校生を対象にしています。
- 授業ならびに派遣にかかる費用のご負担はありません。
- 派遣先学校と本学の講師が、内容・時間などを十分に相談して進めます。
- 本学の授業の関係で、お受けできない曜日・時間があります。

### 【お申し込みについて】

お申し込みの際は、次の①～⑥を本学入試広報センターまでお知らせください。

- ①学校名 ②ご担当者名 ③ご連絡先 ④希望授業・分野 ⑤学年・受講予定者数  
⑥実施予定時期・曜日

### 滋賀短期大学 入試広報センター

〒520-0803 大津市竜が丘 24-4 TEL 077-524-3848 FAX 077-523-5124  
URL:<http://www.sumire.ac.jp/tandai/> e-mail:[tnyusi@sumire.ac.jp](mailto:tnyusi@sumire.ac.jp)

## 出 前 授 業 メ ニ ュ ー

講 座 名	教 員	ページ
食文化を通して世界を学ぶ	中平真由巳	1
「食の安全・安心」とは	濱田 尚美	
食べ物とは？ 栄養とは？	清水まゆみ	2
たんぱく質のはたらき	清水まゆみ	
いろいろなお菓子の誕生秘話	石井 明	3
世界のお菓子	石井 明	
1日に消費するエネルギーを計算してみましょう	白木 理恵	4
なぜ子どもに運動が必要なのか	北尾 岳夫	
"生きる力"を育む体験活動	北尾 岳夫	5
幼児教育の基本～遊びの中の学び～	久米 央也	
子どもの「あそび」と「造形表現」	深尾 秀一	6
子どもの成長と音楽	柚木たまみ	
学びの一步 ～「当たり前（自明性）」を問う～	齋藤 尚志	7
子どもの権利条約を知っていますか？	齋藤 尚志	
赤ちゃんの不思議	菅 眞佐子	8
子どもの心理発達と絵本	菅 眞佐子	
子どもの音遊び	松井 典子	9
子どもの言葉と絵本・うたあそび（児童文化財）	松村 都子	
乳幼児保育・教育に関心のあるあなたへ（「これまで」と「これから」）	松村 都子	10
わたしたちはなぜ働くのか ミッションについて考える	江見 和明	
ビジネスで地域を元気にーコミュニティビジネスについて知ろうー	江見 和明	11
なるほど、納得！医療費のしくみ～風邪から先進医療まで～	沖山 圭子	
医療情報と医師事務作業補助者	沖山 圭子	12
体の中でおこる化学反応	田中 裕之	
自分も相手も大切にするコミュニケーション	若生眞理子	13
今すぐいかせるビジネスマナー	若生眞理子	
漢字について考えよう	伊澤 亮介	14
ビジネスとAI	小山内幸治	
プロジェクションマッピングの仕組み	小笠原寛夫	15
身近なデバイスを使用したAR体験	小笠原寛夫	
自分だけのオリジナルブーメランバッグの作成～不要な布をアップサイクル～	仲村 恭子	16
オリジナルプリントでグッズ制作	仲村 恭子	

どんなことでも結構です。お気軽にご相談ください。

教員名	中平真由巳	専門分野	調理学、食文化	
講座名	食文化を通して世界を学ぶ	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	40人	
<内容・目的>				
食文化は民族が培ってきた英知の結晶です。ここでは、各地域の食文化を決定する背景となってきた気候や風土、生態などの環境的要因を理解します。食を通して他国の民族の知恵に触れてみましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	濱田 尚美	専門分野	食品衛生学、栄養学	
講座名	「食の安全・安心」とは	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
<内容・目的>				
食品を「見る」、「選ぶ」、「作る」、「食べる」など、食は毎日の生活の中の楽しみであり、生きていく上で必要不可欠です。だからこそ「安全」であり「安心」できるものでなくてはなりません。食に関する様々な事柄に関心を持ち、食の安全・安心のために「自分自身はどうすべきか」について考えてみましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	清水まゆみ	専門分野	食品学、栄養学	
講座名	食べ物とは？ 栄養とは？	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
＜内容・目的＞				
<p>食べ物は生きていくために欠かすことができないものです。私たちは毎日さまざまな食べ物を食べていますが、食べ物に含まれている物質を利用することを「栄養」といいます。</p> <p>では、食べ物にはどのような物質が含まれているのでしょうか。それらは体内でどのように利用されるのでしょうか。健康な生活を送るために重要である「食べ物」について、「栄養」について、考えてみましょう。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	清水まゆみ	専門分野	食品学、栄養学	
講座名	たんぱく質のはたらき	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
＜内容・目的＞				
<p>ヒトの体の成分で一番多いのは水分で、その次に多いのがたんぱく質です。たんぱく質は体の構成成分となり、筋肉、皮膚、骨、毛髪、爪などを作り上げています。また、物質を合成する、分解する、運搬するという、いろいろなはたらきをもっています。神経伝達や免疫反応にもかかわっています。生体にとって最も重要であるたんぱく質の構造を知り、食べ物のたんぱく質がヒトのたんぱく質に変わる様子を学びましょう。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	石井 明	専門分野	製菓	
講座名	いろいろなお菓子の誕生秘話	所要時間	50分	
対象学年	高校2年生	定員	40人	
<内容・目的>				
<p>普段何気なく食べているお菓子(ケーキ)は、失敗から生まれたお菓子や20年間その人にか作れなかったお菓子などがあります。</p> <p>お菓子の誕生にはそれぞれの歴史があり、お菓子のルーツを少し学んでみましょう。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	火曜日	10月～3月	火曜日

教員名	石井 明	専門分野	製菓	
講座名	世界のお菓子	所要時間	50分	
対象学年	高校2年生	定員	40人	
<内容・目的>				
<p>お菓子のエピソードなどを知っておいた方が、何も知らずに食べるより、美味しく楽しいものです。世界のいろいろなお菓子の背景にある文化や歴史を学んでみましょう。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	火曜日	10月～3月	火曜日

教員名	白木 理恵	専門分野	栄養教育・食育・食物アレルギー	
講座名	1日に消費するエネルギーを計算してみましょう	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
<内容・目的>				
<p>エネルギーを消費するというと体を動かす必要があると思われがちですが、体を動かさずに勉強をするなどをして脳を動かしてもエネルギーを消費しています。日々の生活を振り返って、1日にどのぐらいのエネルギーを消費しているのか計算してみましょう。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	北尾 岳夫	専門分野	体育方法学	
講座名	なぜ子どもに運動が必要なのか	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	40人	
<内容・目的>				
<p>子どもたちは、からだを動かすことが大好きです。子どもたちにとって、からだを動かすこと（運動）にどんな意味があるのでしょうか。その必要性和、運動の大切さについてお話しします。</p>				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	特になし			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	北尾 岳夫	専門分野	体育方法学	
講座名	"生きる力"を育む体験活動		所要時間	50分
対象学年	高校1・2・3年生		定員	40人
<内容・目的>				
現在、幼少期から"生きる力"を育むことの重要性が叫ばれています。担当教員が実践してきた幼児の体験活動を紹介しながら、その重要性についてお話しします。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	特になし			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	久米 央也	専門分野	幼児教育	
講座名	幼児教育の基本～遊びの中の学び～		所要時間	50分
対象学年	高校1・2・3年生		定員	40人
<内容・目的>				
幼児教育の基本は「遊びを通して学ぶ」ことです。園児たちが夢中になって遊ぶ中でどんなことを獲得していくのでしょうか。				
この講義では、実際に紙飛行機やストローとんぼを作って遊ぶ中でどんな学びをしているのかについて考えていきます。				
必要な設備	プロジェクター スクリーン			
受講者が準備するもの	はさみ・ホッチキス			
実施可能な時期	4月～9月	水曜日	10月～3月	水曜日

教員名	深尾 秀一	専門分野	幼児教育、造形表現		
講座名	子どもの「あそび」と「造形表現」	所要時間	50分		
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人		
<内容・目的>					
あそびに没頭する子どもたちは、キラキラと楽しそうです。					
では、なぜ子どもたちは遊びに一生懸命なのでしょう？					
簡単な制作体験をとおして、子どもの「あそび」と「造形表現」について、探求心と意欲を					
育てる「もの」を中心に考えてみましょう。					
必要な設備	プロジェクター、スクリーン				
受講者が準備するもの	ハサミ				
実施可能な時期	4月～9月	金曜日	10月～3月	火曜日	

教員名	柚木たまみ	専門分野	音楽表現、音楽学、声楽、音楽療法		
講座名	子どもの成長と音楽	所要時間	45分		
対象学年	高校1・2・3年生	定員	特になし		
<内容・目的>					
人間は、生まれてから6歳になる位までの間に、生きるために必要なからだところが急					
激に発達します。この発達は、その後のより良く生きていくための成長の基盤となります。					
音楽を利用した活動は、子どもの成長のために非常に有用です。その理由について、音楽					
の特性を理解しながら確認していきましょう。そして、実際に音と音楽を用いた表現活動を行					
い、体感しましょう。					
必要な設備	ピアノ(キーボード)を使用できる教室。PP投影のためのプロジェクター、スクリーン。				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	齋藤 尚志	専門分野	教育学、子どもの権利論、地域教育論		
講座名	学びの一步～「当たり前（自明性）」を問う～	所要時間	60～90分		
対象学年	高校1・2・3年生	定員	40人		
＜内容・目的＞					
<p>学びの一步は、普段何気なくしていることや話していることなどの「当たり前」を疑うことから始まります。なぜ学校へ行くの？ なぜ勉強するの？ なぜ、なぜ、なぜ？</p> <p>この講座では、私たちの考えや行動を縛っている「当たり前」を疑い、解放されて、ヒト・モノ・コトについて、もっと自由に考え、もっと自由にみずからの問いを立て、学びの一步をふみ出そうと思います。</p>					
必要な設備	できれば、ノートPCの画面を映すプロジェクター等の機器				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	月・水の午前	10月～3月	水曜日	

教員名	齋藤 尚志	専門分野	教育学、子どもの権利論、地域教育論		
講座名	子どもの権利条約を知っていますか？	所要時間	60～90分		
対象学年	高校1・2・3年生	定員	40人		
＜内容・目的＞					
<p>子どもがおとなと同じ人間であることはみんな知っています。でも、子どもがおとなと同じように、自由に考え、行動し、おかしいことをおかしいと言えているのでしょうか。</p> <p>受講生には、まずは子どもにも自由や権利があることを知り、理解を深めてほしいと思います。その上で、具体的なケースについて考え、受講生同士で意見交換し、他者を理解し、自分自身をより知ってほしいと思います。</p>					
必要な設備	できれば、ノートPCの画面を映すプロジェクター等の機器				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	月・水の午前	10月～3月	水曜日	

教員名	菅 眞佐子	専門分野	子どもの心理発達	
講座名	赤ちゃんの不思議	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	20人	
<内容・目的>				
<p>人の赤ちゃんはたくさんの不思議な力を持って生まれてきます。赤ちゃんが持つその不思議な力について知ることを通して、人が成長するしくみの素晴らしさや、人として成長することの素敵さに触れてみましょう。</p>				
必要な設備	パワーポイントのスライド提示・音声再生が可能なプロジェクタ・スピーカ（PCは持参します）			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	菅 眞佐子	専門分野	子どもの心理発達	
講座名	子どもの心理発達と絵本	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
<内容・目的>				
<p>話題を集めている絵本、名作と言われる絵本など、実際にその楽しさに触れてみることを通して絵本というものが持つ魅力を体験するとともに、絵本が子どもに何を育ててくれるのか、一緒に考えてみましょう。</p>				
必要な設備	パワーポイントのスライド提示・音声再生が可能なプロジェクタ・スピーカ（PCは持参します）			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	松井 典子	専門分野	幼児教育、音楽表現、ピアノ	
講座名	子どもの音遊び	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
<内容・目的>				
子どもたちは音を通じた表現遊びが大好きです。				
音遊びは、まず音を聴くことから始まります。子どもたちがどのように音に耳を傾け、感じ表現しているのかを一緒に考えていきます。				
子どもたちの視点で、音やリズムを体験し、表現することの喜びや楽しさを共有しましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン、ピアノ（電子ピアノ、キーボード）			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	松村 都子	専門分野	幼児教育・保育	
講座名	子どもの言葉と絵本・うたあそび（児童文化財）	所要時間	60～90分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	25人	
<内容・目的>				
生まれたばかりの言葉をまだ知らない赤ちゃんは、いつ、どのようにして言葉を覚えていくのでしょうか？ 子どもの言葉の獲得について考えてみましょう。				
また、絵本やうたあそびは子どもの言葉の育ちに有効だと言われていますが、子ども達の喜ぶ絵本やうたあそびを一緒に楽しみながら、その理由も考えてみましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	特になし（筆記用具）			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	松村 都子	専門分野	幼児教育、保育	
講座名	乳幼児保育・教育に関心のあるあなたへ（「これまで」と「これから」）	所要時間	60～90分	
対象学年	高校2・3年生	定員	25人	
＜内容・目的＞				
幼稚園や保育園のほかに、認定こども園が開設されたり、地域型保育事業が始まったりなど、近年、園現場は様変わりをしてきています。				
園の「これまで」と「これから」を知ることで、園や保育者に求められていることや役割について考え、幼児教育や保育への関心を広げましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	特になし（筆記用具）			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	江見 和明	専門分野	経営学、地域ビジネス	
講座名	わたしたちはなぜ働くのか ミッションについて考える	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	特になし	
＜内容・目的＞				
同じ仕事をしていても、人によって仕事に対する考え方は全く違う。				
ある人は、生活のために仕方なく働いているのかも知れないし、またある人は、大切な誰かのために働いているのかもしれない。人によっては、もっと違う何かを考えて働いているのかも知れない。私たちは何のために働くのか、そのヒントとして「ミッション」というものについて考えてみる。ミッションとは「使命」と訳すことができる。ミッションを持つことで何がかわるのか、一緒に考えてみましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	月曜日

教員名	江見 和明	専門分野	経営学、地域ビジネス	
講座名	ビジネスで地域を元気に ーコミュニティビジネスについて知ろうー		所要時間	50分
対象学年	高校1・2・3年生		定員	特になし
<内容・目的>				
この講義では、ビジネスを通して地域社会の問題を解決することを目的とするコミュニティ・ビジネスとはどのようなものかということについて、事例を紹介しながら皆さんと一緒に考えてみたいと思います。社会貢献型ビジネスのアイデアも考えてみましょう！				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	月曜日

教員名	沖山 圭子	専門分野	医療秘書、医療事務、医療情報	
講座名	なるほど、納得！医療費のしくみ～風邪から先進医療まで～		所要時間	50～60分
対象学年	高校1・2・3年生		定員	40人
<内容・目的>				
私たちは通常、病気になったりけがをした時には、保険証をもって医療機関を受診します。				
日本は世界でも最も優れた医療保険制度をもった国です。医療機関の窓口で保険証を提示することで、優れた医療を安い医療費でうけることができます。では、その医療費はどのように決まるのでしょうか。風邪をひいて受診した場合は？ドラマに出てくる先進医療の医療費は？				
事例をもとに医療費（診療報酬）のしくみについてお話しします。				
必要な設備	特になし			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	水曜日	10月～3月	水曜日

教員名	沖山 圭子	専門分野	医療秘書、医療事務、医療情報		
講座名	医療情報と医師事務作業補助者		所要時間	50～60分	
対象学年	高校1・2・3年生		定員	40人	
<内容・目的>					
ふだんカルテと呼ばれている診療録にはどのようなことが書かれているのでしょうか。					
診療録に記載されている事項をはじめ、診療の過程で発生する情報や医療機関に関する情報等を含めて、医療情報といいます。					
医師の働き方改革のキーマンとなる医師事務作業補助者の役割と医療情報の関りを知ってください。					
必要な設備	特になし				
受講者が準備するもの	筆記用具				
実施可能な時期	4月～9月	水曜日	10月～3月	水曜日	

教員名	田中 裕之	専門分野	生化学・生理学		
講座名	体の中で起こる化学反応		所要時間	50～60分	
対象学年	高校1・2・3年生		定員	40人	
<内容・目的>					
生きるためには食べなければなりません。その食べたもの（化学物質）は体の中でどのようになるのでしょうか。たとえば、ごはんはデンプンからできていて、そのデンプンはグルコース（ブドウ糖）がつながったものです。デンプンはお腹の中で消化され、体の中の細胞に取り込まれます。取り込まれたグルコースは酸化分解されて、その時発生するエネルギーを使って私たちが生きていくために必須のATPという細胞内エネルギー通貨が化学合成されます。このような体の中の化学反応がおこる仕組みについて解説します。					
必要な設備	プロジェクターとスクリーンが必要です。パソコンは持参します。				
受講者が準備するもの	筆記用具の他には特にありません。				
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談	

教員名	若生眞理子	専門分野	対人コミュニケーション	
講座名	自分も相手も大切にできるコミュニケーション	所要時間	60分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
＜内容・目的＞				
「アサーション」という言葉があります。それは、お互いの感じ方や考え方の違いを認めながら、気持ちのよいコミュニケーションを交わすための考え方やスキルのことです。				
言いたいことを言いそこなったり、あるいは強引に言いすぎたりして、気まずい思いをしたことはありませんか。				
この授業を通して、周囲の人達とのさわやかなコミュニケーションのとり方について一緒に考えてみましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	月曜日

教員名	若生眞理子	専門分野	対人コミュニケーション	
講座名	今すぐいかせるビジネスマナー	所要時間	60分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
＜内容・目的＞				
マナーとは、相手を大切に思う気持ちが出発点です。その気持ちをどのように表現すれば感じよく相手に伝わるのか。それには、周囲に目や心を向け、その場にふさわしい言葉や表情、態度で表現することが大切です。				
簡単な検定問題に取り組みながら、より良い人間関係を築いていくことの重要性について学びましょう。				
必要な設備	プロジェクター、スクリーン			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	月曜日	10月～3月	月曜日

教員名	伊澤 亮介	専門分野	言語社会学、文字学	
講座名	漢字について考えよう	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	30人	
<内容・目的>				
漢字は私たちにとって日本語を書き表す文字として欠かせないものです。しかし、それが今のように当たり前のものになるまでには様々な紆余曲折がありました。近代以降における、他の漢字文化圏（中国・朝鮮・ベトナム等）の言語政策と比較しながら、日本における漢字に対する考え方の変遷をたどり、これからの漢字について考えます。				
必要な設備	特になし			
受講者が準備するもの	特になし			
実施可能な時期	4月～9月	火曜日午後	10月～3月	火曜日午後

教員名	小山内幸治	専門分野	情報教育など	
講座名	ビジネスとAI	所要時間	60分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	40人	
<内容・目的>				
近年の高度デジタル化社会の中で、各企業は、競争を勝ち抜くために、これまでのビジネスのやり方を大きく変えていく必要性がでてきました。この変革のために、DX（デジタルトランスフォーメーション）が注目されています。DXとは、「企業がデータやデジタル技術を活用し、組織やビジネスモデルを変革し続け、価値提供の方法を抜本的に変えること」です。この授業では、高校生の皆さんにも理解できるように、ビッグデータ分析やAIを用いてビジネスを変革していくDXについてわかりやすく、ビジネスでの実例をあげながら解説します。				
また、これからの高度デジタル化社会の中での企業の姿、企業で働く人に求められるものなどについても考えてみます。				
必要な設備	特になし			
受講者が準備するもの	筆記用具			
実施可能な時期	4月～9月	金曜日	10月～3月	金曜日

教員名	小笠原寛夫	専門分野	メディアアート、インスタレーション	
講座名	プロジェクションマッピングの仕組み	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	12人	
<内容・目的>				
現在、様々な場所でプロジェクションマッピングを見る機会が多くなってきました。映像手法として大きく飛躍を遂げた”プロジェクションマッピング”の事例を紹介します。				
また、室内という限られた環境の中で投影を行い、自ら体験し新たな可能性を感じてもらいます。				
必要な設備	投影を行うので暗くできる空間が必要です。			
受講者が準備するもの	特になし			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	小笠原寛夫	専門分野	メディアアート、インスタレーション	
講座名	身近なデバイスを使用したAR体験	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	10人	
<内容・目的>				
AR（拡張現実）とは、現実空間にデジタルのコンテンツ（CGや音声、文字）を重ねたものです。エンターテインメント性の高いツールですが、現在はビジネスに活用される機会が多くなっています。				
ARの様々な活用事例を紹介し、身近なタブレットやPCを使用しながら制作の実演を行います。				
必要な設備	資料やタブレットを表示するために、プロジェクターとスクリーンが必要になります。			
受講者が準備するもの	特になし			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	仲村 恭子	専門分野	ファッションデザイン	
講座名	自分だけのオリジナルブーメランバッグの作成 ～不要な布をアップサイクル～	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	24人	
<内容・目的>				
オーストラリア発祥のブーメランバッグを、自宅にある不要な布や服を使っておしゃれな鞆に仕立てます。ミシンが苦手な人も縫う箇所が少ないので簡単に作ることができます。				
制作を通してサステナビリティの意識を高め、手軽にクリエイティブリユースを楽しみましょう。				
必要な設備	家庭科室のミシンを使用します。			
受講者が準備するもの	不要になった服や布、筆記用具、裁縫道具（あれば）			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

教員名	仲村 恭子	専門分野	モノづくり	
講座名	オリジナルプリントでグッズ制作	所要時間	50分	
対象学年	高校1・2・3年生	定員	24人	
<内容・目的>				
手軽にプリントできる熱転写ラバーシートを使って自分だけのオリジナルグッズの制作ができます。自分で書いたイラストや文字をハサミ切り抜いてアイロンで布に接着するだけなので、手先が器用なひとでなくてもきれいにプリントすることが可能です。				
必要な設備	アイロン台、アイロン 4人につき1台ほど			
受講者が準備するもの	筆記用具、はさみ			
実施可能な時期	4月～9月	要相談	10月～3月	要相談

